

平成 17 年 9 月 16 日

報道機関各位



**科学好きを育てる！ 理解の難しい単元「光」を親子で実験しながらマスターする！
東京大学「親子で取り組む科学実験教材」を開発、ガリレオ工房プロデュース
世界初、「親子で使える学習支援ツール」として携帯電話を利用
11 月実施の実証実験、参加希望者（親子 60 組：120 名）を募集 参加費無料**

拝啓 貴社におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京大学大学院 情報学環 ベネッセ先端教育技術学講座は、「親子で取り組むことのできる科学実験教材」である「**おやこ de サイエンス**」を開発しました。

「おやこ de サイエンス」は**小学校4年生、5年生を対象にした、3週間の学習プログラム**です。このプログラムは、1)科学実験ワークショップへの参加、2)家庭における親子での実験、3)実験に関連する応用ドリル問題、などを組み合わせた総合教材です。非常に理解の難しいと言われる「光」の単元について、親子で実験をしながら科学的に理解を進める楽しさを味わうことができます。

また、「おやこ de サイエンス」では、**携帯電話を、教科書・えんぴつ・ノートと同じ「学習のための道具」として利用**します。「おやこ de サイエンス」に参加する親子には、**期間中、携帯電話が2台貸与**されます。子どもは携帯電話を用いて、実験のやり方を学んだり、実験結果の予想をしたり、実験をして考え、関連する応用ドリル問題を解くことができます。子どもの学習の結果は、専門家のアドバイスとともに保護者の携帯電話に通知されます。このことで、保護者は子どもの学習状況に応じて適切な声かけをすることができます。保護者は、子どもと科学実験に取り組む前に、実験のポイントや典型的な子どもの学習の様子などを携帯電話から予習できます。このように「**親子で使える学習支援ツール**」として**携帯電話を用いることは、世界初の試み**といえます。「おやこ de サイエンス」では、保護者こそが、子どもにとって最適な学習環境であると考えています。携帯電話は、子どもと保護者の関係を密にし、効果の高い学習を導くために利用されるのです。

このたび東京大学では、11月5日-26日までの3週間、「おやこ de サイエンス」の学習効果を検証するための実証実験を実施することになりました。この実証実験に参加していただける小学校4・5年生の子どもと保護者、計60組(120名)を募集しています。下記の募集要項をお読みの上、ふるってご参加頂けますようお願いいたします。申し込みは**Webサイト「<http://www.oya-ko.jp>」から申し込み用紙をダウンロードの上、FAX・封書にて10月18日まで**行えます。



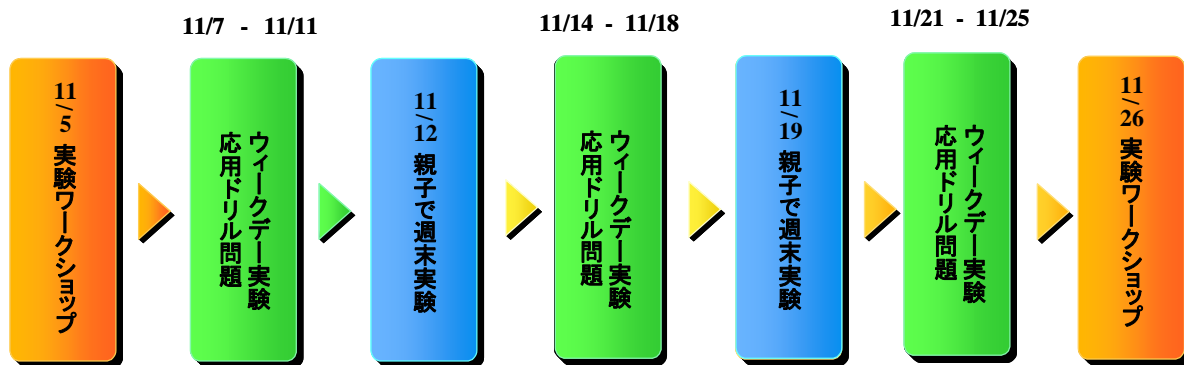
「おやこ de サイエンス」携帯サイト



募集要項

「おやこ de サイエンス」のプログラム概要

「おやこ de サイエンス」は、3週間の学習プログラムです。「実験ワークショップ」「ウィークデー実験」「親子で週末実験」の3つに参加することで、楽しく「光」の単元を学習することができます。



はじめまして！ みんなで集まろう！

11月5日「実験ワークショップ」(都内神保町)

11月26日「実験ワークショップ」(未定)

NPO 法人ガリレオ工房がプロデュースする「実験ワークショップ」。

11月5日は都内神保町、26日は都内某所(未定)に120名全員が集まります。

親子で楽しみながら、光の実験を行います。

平日はおうちで実験！

11月7日-11日「ウィークデー実験と応用ドリル:1週目」

11月14日-18日「ウィークデー実験と応用ドリル:2週目」

11月21日-25日「ウィークデー実験と応用ドリル:3週目」

平日は「ウィークデー実験」。1週間に2日、自宅で実験に取り組みます。所要時間は1日1時間程度です。

週末はおうちで親子で実験！

11月12日「親子で週末実験:1週目」

11月19日「親子で週末実験:2週目」

平日よりも規模の大きな実験に、親子で取り組んで頂きます。

上記のように、繰り返し繰り返し、実験に取り組むことで、非常に理解の難しいと言われる「光」の単元を、完全に理解することをめざします。

応募資格

- 小学校4年生・5年生の子ども1名と、その保護者1名
- 11月5日から26日まで3週間続けて、上記の内容に親子で取り組むことができること
- 質問紙調査（計2回実施）、インタビュー調査（一部の親子のみ実施）に回答できること

応募条件

- 貸与された携帯電話2台を3週間保持・使用し、返却すること。加えて、それらに破損・紛失等が生じた場合は、過失に問わず、実費にて賠償責任をおうこと。
- 保護者の責任において貸与した携帯電話を利用させること。貸与した携帯電話の利用中に、損害、事件が生じた場合でも、東京大学および本プロジェクトに関連する協力組織等に対して、いかなる損害賠償、また訴追も行えないことを了承すること
- 「おやこ de サイエンス」上で研究者が採取したデータ、ワークショップ中に撮影された写真やビデオなどを、研究目的に関する限り、学会や論文中で使用することを許諾すること

このたび、**お申し込みは、上記、応募資格と応募条件をともにみだし、ご承諾いただける方**に限ります。

お申し込みは、下記の Web サイトにある申込用紙をご利用の上、FAX・封書にて10月18日まで行うことができます。なお、応募者多数の場合などは抽選になります。**結果は実験に参加出来る方のみに10月18日以降、メールにて通知させていただきます。**また、〆切前でも応募者多数の場合、締め切る場合がございますので、ご了承下さい。

「おやこ de サイエンス」

<http://www.oya-ko.jp>

主催・協力等

主催・企画：東京大学情報学環 ベネッセ先端教育技術学講座 ※1

実験プロデュース：NPO 法人 ガリレオ工房 ※2

制作：大房潤一（多摩美術大学 造形表現学部 映像演劇学科）

制作：有限会社 スパイスワークス ※3

協力：株式会社 ベネッセコーポレーション ※4

協力：株式会社 NTT ドコモ

※1 平成16年4月1日より㈱ベネッセコーポレーションの寄付により、東京大学大学院 情報学環・学際情報学府に解説された寄付講座です。eラーニング、モバイルラーニング、ユビキタス学習システムなど、新しい情報技術を用いた教育環境について、研究をすすめています。

※2 NPO法人ガリレオ工房は、主に理科・科学技術・自然科学の実験や読書を通して、理科教育・科学技術教育・自然科学教育・環境科学に関する研究、創造、普

及について事業を行っています。 <http://www.galileo-sci.jp/>。

※3 ウェブサイト・モバイルサイト・CD-ROM などデジタルコンテンツの企画・開発、ASP サービスの企画・開発・運営を手がけています。ウェブサイト：
<http://www.spiceworks.co.jp/>。東京都新宿区。

※4株式会社ベネッセコーポレーション(代表取締役社長:森本昌義 <http://www.benesse.co.jp/>)は、教育・語学・生活・福祉の4つの事業領域において、一人ひとりの歩みに合ったきめ細かなサービスを提供しています。

報道関係 お問い合わせ先

東京大学 大学総合教育研究センター 講師

東京大学情報学環 ベネッセ教育技術学講座 フェロー

中原 淳

jun@nakahara-lab.net

TEL: 03-5841-2015 (担当: 中原)